



北海道霧多布高等学校
英知・錬磨・創造
霧高だより

教育目標

- 1 学習を重んじ、高い知性と豊かな情操を持った人をつくろう。
- 2 秩序を重んじ、個々人の責任と義務を果たす人をつくろう。
- 3 個々の人間性を重んじ、互いに協力し合う人をつくろう。
- 4 健全な体と意志を錬磨し、創造的に生きる人をつくろう。

発行日：令和4年11月30日（水）

☆校長室より☆

（校長 石谷 正）

今年もあと1ヶ月となり、浜中町にも初雪の便りを聞く季節となりました。11月は2年生最大の行事「見学旅行」を行い、宮城県（仙台・松島・石巻）と岩手県（平泉）を見学してきました。どちらも晴天に恵まれ紅葉の時期と重なり、歴史的建造物をはじめとした日本の美しさを見ることができました。また、石巻市内では震災学習を行い、東日本大震災の被害状況の説明があり、改めて津波の恐ろしさを学び、他人事ではないという認識をして帰校しました。この期間で学んだことを今後の学校生活に活かしてほしいと願っています。

さらに、10月に開催した浜中学報告会後の集大成として「正義のヒーロー 浜中報告隊」を11月3日（木）から14日（月）まで霧多布湿原センターで行い、3年間の研究成果を披露させていただきました。この期間中多くの方に来場していただいたことに、深くお礼申し上げます。

現在、コロナウイルスが再び猛威を振るっています。ご家庭におかれましても引き続き感染防止対策（マスク・手洗い・換気など）を行っていただきますよう、お願いいたします。

北方領土学習を終えて

（1年A組 徳野 隆雅）

北方領土学習を終えて、以前より北方領土の歴史について詳しく知ることができました。具体的にいうと、日本がポツダム宣言を受諾した後にソ連が千島列島を攻撃したことや、1875年ごろには千島列島も日本の領土であったことです。他にも、今の北方領土の様子や当時の生活していた環境なども交流センターや北方館で知ることができました。



（1年B組 松田 未来）

私は北方領土学習を終えて、わかったことが2つあります。1つ目は、今の北方領土の現状について知りました。2つ目は、北方領土の歴史について学び、今までどんなことが起きたのかについて学びました。今、北方領土は、ロシアに実効支配されてしまっていて、日本人が自由に出入りできなくなってしまっていますが、いつか出入りできるようになることを願っています。



3 学年浜中学 PR イベントを終えて

(3年A組 佐藤 海吏)

今年から始まった浜中学 PR イベントは各班がそれぞれの企画したイベントを行いました。釣りやカルタ、クイズなどの体験型のイベントは自分自身でやってみても楽しく、思い出作りには最適だと思いました。1、2年生が来たときはとても賑やかで学生としての活気を感じることができて良かったです。来年もこのようなイベントを浜中学に取り入れ、今後の学習をより深めていかなければいけないなと思います。



(3年B組 三山 茜音)

私たちは11月14日に、霧多布湿原センターで浜中学 PR イベントを行いました。どの班も浜中町の特徴を活かした PR を行っており、すべての班が浜中町のためになるイベントの運営ができていたと思います。どの班も率先してお客さんの対応をしていたり、アピールしたりしていて積極的でとても良かったです。このイベントをしたことで、浜中町のことをより深く知れたと同時に、将来使う能力を鍛えられた貴重な機会でした。とてもありがたかったです。



- 1日(木) 社会人事前講座 (3学年)
- 5日(月) 授業公開週間 (9日(金)まで)
- 9日(金) 進路相談員進路講話 (1学年)
- 16日(金) 冬季球技大会
- 23日(金) 冬期休業前全校集会